

# 八団体が出演

## 第一回 北秋田市民俗芸能大会

九月三日 市文化会館

【米内沢共勇会獅子踊り】  
(演目は「駒踊り」)



駒踊りは、戦う騎馬武者の姿を表現しているといわれます

本市には、鷹巣地区から阿仁地区まで、たくさん個性豊かな郷土芸能が伝承されています。しかし、一般には地区の祭典やお盆の時期、集落内で公開されていることから他地区の住民が目にする機会が少ないのが現状。また、後継者不足などの理由から廃れてしまった芸能も多く、保存・伝承が課題にもなっています。

本大会は、市内で演じられている芸能を一堂に集めて市民に公開し、民俗芸能への理解と関心を深め、保存・伝承につなげることを目的として開催されたものです。

公演には、鷹巣地区から前山郷土芸能保存会、坊沢獅子踊り保存会、合川地区から福田獅子舞保存会、猿倉人形芝居、森吉地区から米内沢共勇会(獅子踊り)、五味掘餅搗踊り保存会、阿仁地区からは荒瀬獅子踊り

# 各地域・集落伝統の郷土芸能を公開

保存会、比立内獅子踊り保存会の8団体が出演、見物客も各地域から訪れ、定員を上回る盛況ぶりでした。

はじめに、三澤仁教育長が「合併して1年、それまでは各地域・集落単位で演じられていた芸能を、こうして一堂に会して公開することになった。遠方から来ていただいた方も多く、座りきれないほどの入りとなり心から感謝申し上げます。

伝統芸能は貴重な文化。保存会の方々も努力しているが、私たちも関心を高め、大切に守っていく必要がある。今日は郷土

色豊かな民俗芸能を最後まで楽しんでほしい」などとあいさつ、公演が始まりました。

(次頁に続く)

### 【福田獅子舞】

胎内舞人(獅子の衣をかぶる演じ手)2名と誘導役の「ササラ」、そして囃子方(鉦、太鼓)数名で構成される。昭和初期までは奴踊り、万歳、大名行列などと多彩であったが、現在は、大獅子舞のみが演じられている。

# 厄除け、豊作を祈願し舞い、踊る。

